

参加無料

歯周組織再生療法WEBセミナー

LIVE配信

急速な歯周組織破壊へのリグロスの応用



日時

2023年9月14日（木） 19:30～21:00

北海道大学歯学研究院 口腔健康科学講座
歯周・歯内療法学教室 教授

演者

菅谷 勉 先生



ご略歴

1985年	北海道大学歯学部卒業		
1985年	北海道大学歯学部附属病院	第2保存科	医員
1988年	北海道大学歯学部附属病院	第2保存科	助手
1992年	博士（歯学）		
1998年	北海道大学歯学部附属病院	第2保存科	講師
2002年	北海道大学大学院歯学研究科	歯周・歯内療法学教室	准教授
2019年	北海道大学大学院歯学研究科	歯周・歯内療法学教室	教授

主催 科研製薬株式会社

・・・参加申し込み方法・・・

2次元バーコード又はURLからアクセスし、お申込みください



<http://bit.ly/3PR0f0P>

ご記入及びご入力いただいた個人情報、
「**科研製薬の個人情報保護に関する取組み**
(<https://www.kaken.co.jp/privacy/>)」に
従い取り扱います。
内容をご確認いただき同意のうえ、ご登録ください。

【お問い合わせ】

科研製薬株式会社 学術推進グループ 札幌オフィス 学術部 杉岡美樹
〒060-0001 札幌市中央区北1条西4丁目1-2-2F
TEL 080-5983-0069
sugioka_miki@kaken.co.jp

Drug Information

●詳細は電子化された添付文書をご参照ください。[禁忌を含む使用上の注意]の改訂に十分ご注意ください。

【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
2. 口腔内に悪性腫瘍のある患者又はその既往歴のある患者
[本剤が細胞増殖促進作用を有するため]

【効能・効果】 歯周炎による歯槽骨の欠損

〈効能・効果に関連する使用上の注意〉

1. 本剤は、歯周ポケットの深さが4mm以上、骨欠損の深さが3mm以上の垂直性骨欠損がある場合に使用すること。
2. 本剤は、インプラント治療に関する有効性及び安全性は確立していない。

【用法・用量】 歯肉剥離掻爬手術時に歯槽骨欠損部を満たす量を塗布する。

〈用法・用量に関連する使用上の注意〉

本剤の使用にあたっては【臨床成績】の項を参照し適切な量を用いること。

【承認条件】 医薬品リスク管理計画を策定の上、適切に実施すること。

【使用上の注意】<抜粋>

1. 重要な基本的注意

- (1)本剤は歯周外科手術の経験のある歯科医師又は医師が使用すること。
- (2)術後に歯肉弁の著しい陥凹を生じると予想される骨欠損部位に対しては、他の適切な治療法を考慮すること。

2. 副作用

本剤が投与された安全性評価対象症例429例中3例(0.7%)に副作用が認められた。その内訳は、適用部位における歯肉白色化、歯肉紅斑、歯肉腫脹および頭痛が各1例(0.2%)であった。臨床検査値異常は429例中51例(11.9%)に認められ、その主なものは尿中アルブミン陽性27例(6.3%)、尿中β₂ミクログロブリン上昇17例(4.0%)、尿中NAG上昇16例(3.7%)、CRP上昇6例(1.4%)等であった。(承認時)

分類	頻度	1%以上	1%未満	頻度不明
適用部位および適用部位近傍			歯肉白色化、歯肉紅斑、歯肉腫脹	硬結、肥厚
精神神経系			頭痛	
臨床検査	尿中アルブミン陽性、尿中β ₂ ミクログロブリン上昇、尿中NAG上昇、CRP上昇		AST(GOT)上昇、ビリルビン上昇、CK(CPK)上昇、ALT(GPT)上昇、LDH上昇、尿糖陽性、リンパ球増多、好中球減少、単球増多、白血球減少、総蛋白上昇	

●その他の使用上の注意等については電子化された添付文書をご参照ください。

2021年2月改訂(第5版)



歯周組織再生剤

リグロス® 歯科用液キット 600μg/1200μg

REGROTH Dental Kit 600μg/1200μg トラフェルミン(遺伝子組換え)製剤

処方箋医薬品(注意-医師等の処方箋により使用すること)

薬価基準収載

製造販売元
[文献請求先及び
問い合わせ先]



科研製薬株式会社

東京都文京区本駒込二丁目28番8号

医薬品情報サービス室